

とねまち 議会だより



あなたと議会を結ぶ広報紙

7月臨時会
9月定例会

No. 168

2024.11.1

撮影場所：奥山 泉光寺

撮影日：令和6年10月4日

令和6年第1回 議会臨時会の議決等結果

会 期 6年7月17日(水)

審議議案 町長提出議案：2件

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別									
			賛成	反対	嶋(敬)	本谷	佐藤	峯山	新井	船川	井原	五十嵐	嶋(誠)	大越
第45号	令和6年度利根町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	6	0	○	○	欠	○	○	○	欠	欠	○	—
第46号	工事請負契約の締結について	原案可決	5	1	○	×	欠	○	○	○	欠	欠	○	—
				討論		反		賛						

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。
議長(大越 勇一議員)は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

令和6年第1回 議会臨時会 議案概要

議案第45号 令和6年度利根町一般会計補正予算(第4号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ2億2,239万2千円を追加し、総額を76億1,569万8千円とするものです。

議案第46号 工事請負契約の締結について…………… 【原案可決】

利根中学校屋内運動場長寿命化改良工事の請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

1. 工事名：利根中学校屋内運動場長寿命化改良工事
2. 工事場所：利根中学校
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金額：3億580万円(うち取引に係る消費税の額及び地方消費税の額：2,780万円)
5. 契約相手方：大昭・増川特定建設工事共同企業体
(大昭建設株式会社：茨城県龍ケ崎市1686番地、
増川建設株式会社：茨城県龍ケ崎市川原代町5847番地の7)

討 論

第1回臨時会に上程された議案に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています。記事は原則各議員が作成したものです。)

〈 議案第46号 工事請負契約の締結について 〉

反対討論

本 谷 孝 議員

利根中学校屋内運動場の長寿命化改良工事について、保護者の皆様に対する丁寧な説明をしてから、工事の計画についてお知らせすべきと考え、反対します。

賛成討論

峯 山 典 明 議員

古い体育館で競技することは命に関わるような環境になりつつあります。断熱性能を高めるのは喫緊の課題でもあり、今すぐにでも取り組むべき内容だと私は考えます。体育の授業や部活動の移動など様々なことがあります。これらをクリアできるように子供たちや保護者の方たちが不安を抱えることのないよう努力していただきたいと思います。新しい性能の高い体育館で部活動及び体育の授業を行うのは有効だと考え、賛成します。

令和6年第3回 議会定例会 議案概要

議案第47号 令和6年度利根町一般会計補正予算(第5号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ4億2,649万4千円を追加し、総額を80億4,219万2千円とし、また、債務負担行為、地方債の補正をするものです。

議案第48号 令和6年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1,048万4千円を追加し、総額を19億6,769万円とし、また、診療所の施設勘定予算額に歳入歳出それぞれ951万4千円を追加し、総額を1億3,982万7千円とするものです。

議案第49号 令和6年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ32万8千円を追加し、総額を561万8千円とするものです。

議案第50号 令和6年度利根町介護保険特別会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ8,670万3千円を追加し、総額を17億7,004万4千円とするものです。

議案第51号 令和6年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ264万9千円を追加し、総額を2,073万2千円とするものです。

議案第52号 令和6年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ144万5千円を追加し、総額を7億7,804万2千円とするものです。

議案第53号 令和6年度利根町下水道事業会計補正予算(第1号) …………… 【原案可決】

収益的収入及び支出について、下水道収益を1,543万円減額し、6億6,479万3千円とし、下水道事業費用を626万9千円減額し、7億311万7千円とするものです。

議案第54号 令和5年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第55号 令和5年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第56号 令和5年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第57号 令和5年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第58号 令和5年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第59号 令和5年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

議案第60号 令和5年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件…………… 【認 定】

※議案第54号～議案第60号の詳細は、決算審査特別委員会のページ(6p・7p)をご参照ください。

議案第61号 工事請負契約の締結について(令和6年度 旧文小学校改修工事) …… 【原案可決】

令和6年度旧文小学校改修工事の請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

1. 工事名：令和6年度旧文小学校改修工事
2. 工事場所：旧文小学校
3. 契約方法：一般競争入札
4. 契約金額：1億6,390万円(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額：1,490万円)
5. 契約相手方：櫻井建設工業株式会社(茨城県龍ヶ崎市4235番地11)

議案第62号 工事請負契約の締結について(令和6年度 旧文間小学校改修工事) …… 【原案可決】

令和6年度旧文間小学校改修工事の請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により提案するものです。

1. 工事名：令和6年度旧文間小学校改修工事
2. 工事場所：旧文間小学校
3. 契約方法：一般競争入札

4. 契約金額：1億1,440万円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額：1,040万円）
 5. 契約相手方：増川建設株式会社（茨城県龍ケ崎市川原代町5847番地の7）

諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について……………【適任】

請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願……………【採択】

※詳細は、請願第1号のページ（7p・8p）を参照してください。

請願第2号 利根町が利根町立木に所有する農林業近代化施設に関する請願……………【継続審査】

※詳細は、請願第2号のページ（10p・11p）を参照してください。

議員提出議案第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書提出の件……………【原案可決】

※詳細は、議員提出議案第1号のページ（9p）を参照してください。

人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦について（諮問）

ふくだ すみこ
福田 澄子 氏

議会で「適任」と判断され、町長が推薦し法務大臣が委嘱します。

討論

第3回定例会に上程された議案に対し、下記の討論がありました。
 （登壇順に記載しています。記事は原則各議員が作成したものです。）

〈議案第48号 令和6年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）〉

反対討論 峯山典明 議員

マイナンバーカードの取得は法律上何の規定もなく任意で、義務はありません。現行の保険証が廃止されてカードと一体化されると、医療機関を受診するためには取得せざるを得なくなります。資格確認書はサイズと質が現行のものと変わりません。それならば現行の保険証で良いのではないのでしょうか。政府がこの制度に投入した税金は約1兆1,700億円です。国民健康保険103万2,000円の見直しを求め、反対いたします。

〈議案第54号 令和5年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件〉

反対討論 峯山典明 議員

結果が伴っていない事業は縮小を図り、勇気ある撤退を検討する時期に来ています。既に終わったこと執行された予算だからと軽んじることなく、私はトータル108回の質疑をし慎重に検討しました。財源に乏しい利根町においては無駄遣いをなくし、本当にそれが必要なのかを考えて事業を行っていただきたい。慣例で事業をやる段階ではなくなっています。後年度の予算編成や行政執行に活かしてもらいたいという観点から反対します。

反対討論

本谷 孝 議員

利根町の財産と町民の財産を破壊されたままです。これらも災害です。今後、特に防災に手厚く予算配分を見直すべきであるという観点から反対します。

反対討論

佐藤 真一 議員

決算は、町の行政に対するPDCAでいえばチェックにあたるもので重要であり、しっかり検証し次の予算に繋げていかなければならない。

1. 委託費の費用対効果が十分検証されているかどうか大いに疑問である。
2. 過疎債が効果的に使われているか問題がある。
3. 多額の財政調整基金繰入金が生計上されているが、その目的が明確ではない。

決算審査特別委員会

令和5年度決算議案の審議は「決算審査特別委員会」を設置し、この特別委員会において慎重に審査され定例会の最終日に委員長から次のとおり委員会審査の経過及び結果の報告がありました。



<審査結果：委員長報告> 山崎 誠一郎 決算審査特別委員会委員長

本委員会は、9月2日の本会議において設置され、「議案第54号 令和5年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件」から、「議案第60号 令和5年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件」までの7議案について付託されたものです。

決算審査特別委員会は、令和6年9月10日から9月13日までの4日間、委員8名全員が出席し開催しました。

これに町長・教育長をはじめ各課長及び担当職員の出席のもと、積極的な質疑応答がなされ、長時間にわたり慎重なる審査を行いました。

議案第54号 令和5年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件については、峯山委員の反対討論があり、採決の結果は、反対が峯山委員・本谷委員の2人、賛成が五十嵐委員・船川委員・井原委員・佐藤委員・山崎敬子委員の5人。賛成多数で『認定』と決定しました。

以降の、議案第55号 から 議案第60号の特別会計については、討論はなく、採決の結果は、全会一致で、『認定』と決定しました。

各会計の決算額については別表のとおりです。

少子高齢化や人口減少の急速な進展により町税が減収する一方、社会保障費は増加するなど、今後も厳しい財政状況が続くと見込まれます。その中でも、限られた資源を有効活用し、町民の皆様により良い公共サービスを提供することに努めるとともに、今回の審査の過程で委員から出されました意見を参酌いただき、町の将来を見据えた持続可能な行財政運営に留意し、引き続き、歳出抑制に努めていただきたいと思います。

以上、会議規則第77条の規定により報告いたします。

令和5年度歳入歳出決算（一般会計・特別会計）

別表

(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		7,432,781,376	7,141,173,179	291,680,197
特別会計	国民健康保険（事業）	1,807,921,507	1,791,111,468	16,810,039
	国民健康保険（施設）	177,056,554	158,808,915	18,247,639
	公共下水道事業	249,650,872	201,385,914	48,264,958
	町営霊園事業	10,754,926	10,096,978	657,948
	介護保険	1,773,052,894	1,688,733,481	84,319,413
	介護サービス事業	17,726,718	15,077,054	2,649,664
	後期高齢者医療	643,434,365	641,988,888	1,445,477

一般会計歳出の状況

【性質別】

(単位：千円、%)

区分	5年度決算額	構成比
人件費	1,441,336	20.2
物件費	917,487	12.9
維持補修費	79,672	1.1
扶助費	1,194,284	16.7
補助費等	870,386	12.2
投資的経費	815,019	11.4
災害復旧事業費	0	0.0
公債費	390,974	5.5
積立金	628,072	8.8
投資・出資金・貸付金	1,000	0.0
繰出金	802,943	11.2
合計	7,141,173	100.0

【目的別】

(単位：千円、%)

区分	5年度決算額	構成比
議会費	90,931	1.3
総務費	1,879,812	26.3
民生費	2,286,126	32.0
衛生費	562,216	7.9
農林水産業費	229,723	3.2
商工費	69,653	1.0
土木費	511,256	7.1
消防費	392,397	5.5
教育費	728,085	10.2
公債費	390,974	5.5
災害復旧費	0	0.0
合計	7,141,173	100.0

請願第1号

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」

●賛成全員で採択

紹介議員：山崎 誠一郎 議員

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

【請願要旨】

学校現場では、子どもの貧困・いじめ・不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十

分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年3月、義務標準法改正により、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられました。小学校だけに留まることなく、今後は中学校での35人学級の早期実施が不可欠です。加えて、きめ細かい教育をするためには、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

義務教育費国庫負担制度については、2006年度に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、ゆたかな子どもの学びを保障するためにも、国庫負担制度の堅持は不可欠です。

こうした観点から、政府予算編成において下記の請願事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定にもとづき、国の関係機関へ意見書提出を請願いたします。

【請願事項】

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

▽請願審査報告 厚生文教常任委員会 新井 邦弘 委員長

本委員会は、9月6日（金）本会議終了後、委員全員出席のもと、慎重なる審査を行いました。

初めに、「請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」について、会議規則第93条の規定により、紹介議員である山崎 誠一郎議員に説明を求め、その後、質疑・採決を行いました。

主な質疑内容としては、委員から「茨城県の学級の人数の実態を教えてください。」との質疑に対し、「小学校に関しては、来年4月には、ほぼ完了の予定です。ただし、特別支援学級に関しては、その限りではなく若干人数が変わってしまう可能性があります。また、中学校に関しても35人学級は完了でなく、残っている状況である。」との答弁がありました。

また、峯山委員からは、「請願趣旨の中には、教職員の長時間労働や未配置があげられているが、部活動には触れられておりません。請願内容には、入っておりませんが部活動のことも考えていただきたい。」との質疑には、「現在、部活動の指導を学生などに移管するという形で進んでいますが、委員がおっしゃるように部活動問題も来年度以降考えていただくことをお願いしたいと思います。」との答弁がありました。

採決の結果については、全会一致で、採択とすべきものと決定しました。

以上、会議規則第94条の規定による報告とさせていただきます。

議員提出議案第1号

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」

●賛成全員で可決

令和6年9月18日

提出者：山崎 誠一郎 議員

賛成者：新井 邦弘 議員・峯山 典明 議員

佐藤 眞一 議員・山崎 敬子 議員

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」

学校現場では、子どもの貧困・いじめ・不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年3月の義務標準法改正により、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられてはいるものの、小学校に留まることなく、今後は中学校での35人学級の早期実施も必要です。加えて、きめ細かい教育をすすめるためにはさらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

義務教育費国庫負担制度については、2006年度に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間に教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、豊かな子どもの学びを保障するためにも、国庫負担制度の堅持、さらには2分の1への復元が必要です。

こうした観点から、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政をすすめることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月18日

茨城県北相馬郡利根町議会議長 大越 勇一

▽意見書提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣



請願第2号

「利根町が利根町立木に所有する農林業近代化施設に関する請願」

○継続審査

紹介議員：峯山 典明 議員

利根町が利根町立木に所有する農林業近代化施設に関する請願

【請願要旨】

利根町が利根町立木99番地、100番地に所有する農林業近代化施設について、利根きのこ生産組合が解散撤退後、利根町が所有するも適切な管理がなされず、たびたび近隣住民からクレームが出ていることは町としても周知の事実と思料します。過去、不法侵入者を許し、発泡スチロール・プラスチック箱、廃材、消火器を持ち出し付近に散乱させ、住民が片付ける事態となり、ボヤの発生による重大な不安、野生獣の棲家、用水路等周辺の衛生環境悪化、悪臭の発生等、日常的に私達は被害を受けてきました。

このたび、きくらげ栽培施設として稼働再開する計画を知り、当初は町の活性化、地域環境の改善につながるものと理解しましたが、4月18日と5月25日の住民説明会、および農業政策課から開示される情報に接し、ますます生活環境の不安要素の深刻化を招くことがわかりました。

よって利根町の責任において、現在、進められている農林業近代化施設貸付計画の白紙化とともにアスベスト飛散等環境への影響不安解消のため、施設の一刻も早い除却を求め、長年の懸案であった問題の解決を請願するものです。主な理由は以下、6点です。

- ・再開に伴う改修工事を計画するにあたり、当該施設は築年数を鑑みてアスベスト関連法の適用を受けるが、その手続きに不備が露呈し、現在対応している事前調査についても住民指摘によるもので、安心、安全に対する姿勢が欠如していること。
- ・農政課は、「業者が入れば管理されるようになる」の一点張りで、具体的な管理体制が示されず、無責任対応の反省がないこと。
- ・改修工事を施してもアスベスト含有建材を撤去されることはなく、近隣住民、従業者を含め、将来において健康被害の不安は払しょくされないこと。
- ・当該施設は国が定める法定耐用年数を経過し、昭和末期の設計によるものであり耐震性能、耐積雪荷重、耐風荷重が現在の設計指針より劣ることは明らかであり、激甚化する災害に対して耐久性を担保できないこと。
- ・国との約定を確認せず、施設が補助金返還義務を有しているとの回答を繰り返し、行政と事業者が協働で住民世論を操作しているのかのように思われ、著しく信頼を裏切ったこと。
- ・国からの補助金返還命令が出されていない理由として農事組合法人利根きのこ生産組合から利根町が事業を承継したとしながら、実際には当該施設を放置し、その手続きに瑕疵が疑われること。

【請願項目】

1. 現在計画中の農林業近代化施設貸付事業の白紙化
2. 農林業近代化施設の早期除却
3. 昭和63年当該事業の着手以降、現在に至るまでの補助金交付や返還義務の抹消、事業承継等を含むすべての手続きにおいて違法性がないか検証し、町民に開示すること
4. 近隣住民や自然環境との共生を目指した、本来の農林業近代化に資する活用策を策定すること
なお、農林業近代化施設跡地利用を町民参画のもと計画し、住民と若い世代や留学生交流の場

としながら町・産・学協同で利根町農産品栽培の新たな拠点として未来の利根町発展に寄与すべく、町長、関係部署、農業従事者、住民等で検討部会を立ち上げることを提案します。

以上、地方自治法第124条の規定によりお願いいたします。

▽委員長報告 請願審査特別委員会 山崎 誠一郎 委員長

請願第2号の審査経過について、通常、請願審査については、所管の常任委員会に付託されるものでございますが、この請願内容につきましては、一般質問でも取上げられ、町民の方の不安の声が大きいことから、委員数を多くすることが望ましいと判断し、議長を除く全議員で構成する特別委員会に付託することが決定されたものでございます。

当委員会は9月9日の月曜日に開会し、委員全員出席のもと、慎重なる審査を行いました。

まず、会議規則第93条の規定により、「請願第2号 利根町が利根町立木に所有する農林業近代化施設に関する請願」について、紹介議員である峯山典明議員に趣旨説明を求めました。

次に、請願項目の四つについては、項目ごとに審査することとし、審査は委員からの質疑に対し、紹介議員が答弁したほか、その他の意見など多くの発言がございました。

質疑の後に出席委員から、本請願については継続審査との意見があり、採決の結果、賛成多数により、継続審査とすることが決定したものでございます。

これにより、議員各位のタブレットにも掲載したとおりでございますが、継続審査申出書を議長あて、通知したところでございます。

なお、当該施設については、去る6月18日に視察をしておりますが、必要に応じ、適宜現地確認を実施したいと考えております。

次に、所見を申し上げます。

本請願の審査に先立ち、願意を正確に認識するため、委員全員がいる中で請願された方のうち3名の方から詳細について御説明を頂きました。

この3名の方にはお忙しい中、御対応を頂きまして、ありがとうございました。

当該施設はもえぎ野台の住宅に隣接しており、毎日、無管理状態の施設を目にし何年間も環境の面で苦しんでおられた思いや、そのほかの御意見など、委員全員が理解したと思っております。

委員会としましては、そういった皆様方の思いを十分に理解するところではございますが、私たち議員は、住民の声を聞くことは当然のことながら、その意思を総合的に勘案して、議会としての意思を形成する職責もでございます。

このたびの継続審査とする意見では、アスベスト調査が終わっていないこと。

また、アスベストに関する知識を高めるための情報収集や、町に確認しなければならない事項もある。などの意見がございました。

今回結論を出すには至りませんでした。引き続き、町の対応及び今後の方針や見解、また根拠となるものを含め、慎重に精査しながら、12月定例会には委員会の結果を出せるよう協議を重ねてまいりたいと考えております。



町政のここが聞きたい

一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 事業仕分けについて導入の考えは

答 行政評価システムを令和2年度導入

新井 邦弘 議員



問 事業仕分けは、短時間で判断できるのかといった問題や、もっと現場の意見をきちんと聞けば、別の結果になった事業もあったのではないかと様々な問題があると思う。事業について公開の場で予算編成の前に住民や専門の有識者層の意見を聞いてみる。内部の者には気が付かなかった見方や、仕分けに耐えられるだけの事業の必要性や効果と費用のバランスを示さなければならないといった良い面があることも事実であろうと思う。事業仕分けの導入について考えを伺う。

答 事業仕分けについては、総合振興計画基本計画における基本施策、政策、事務事業から成る政策体系を対象に妥当性や有効性などの視点から評価を行い、総合振興計画、基本計画の進行管理を行う行政評価システムを令和2年度より導入している。担当職員による自己点検を行い、策定委員会において報告し、町公式ホームページ及び広報とねで公

表している。総合振興計画審議会に計画の点検、評価について報告し施策に生かせるものは反映し、町民参画が図られる計画の進行管理に努めて行きたいと考える。

問 介護予防、日常生活地域ニーズ調査の概要、高齢者人口の今後の動向、介護保険の計画、介護関係の人材の確保を伺う。

答 要介護認定者の世帯に対して、在宅介護実態調査を実施、外出を控えている方が全体の17.8%、年齢が上がるにつれ多くなっている。高齢者人口は、令和3年度にピークをむかえ推計では令和22年度に5,254人で、介護保険を使う利用者が増え保険料も増加すると考える。介護保険の計画の基本方針では、地域包括支援センターの強化、予防健康づくり、生きがいの推進など在宅生活の継続の支援を施策しており、人材確保では、国の制度の充実が必要です。

問 ダイバーシティ宣言と推進策について

答 新たな価値を創出できる人材を育成する

五十嵐辰雄 議員



問 労働人口が減少する中、多様な人材を確保し、能力を發揮する仕組みが求められています。社会全体の持続的な成長と発展を目指し、個々の人々の多様な価値や能力を最大限生かすことが目的です。行政組織やプロジェクトの運営を行うにあたり、ダイバーシティ宣言都市として課題の洗い出し、目標設定、実施計画等の取り組みをお尋ねします。

答 茨城県ダイバーシティ宣言については、当町では令和3年11月に茨城県ダイバーシティ宣言への登録を行いました。すべての町民がお互いに人権や尊厳を尊重し、活躍できるまちを目指します。多様な働き方を推進し、仕事と生活の調和に配慮した働きやすい環境整備を進め、新たな価値を創出できる人材育成をします。

侵略的生物と呼ばれ河川や池で大群落を形成し、茎はちぎれやすく、断片から活発に再生し拡散します。新利根川や霞ヶ浦で生息域を広げ、一部には川一面を覆うほど群生しています。ナガエツルノゲイトウの繁殖状況と駆除対策をお尋ねします。

答 当町において、特定外来生物ナガエツルノゲイトウの繁殖状況は、新利根川および利根浄化センター外周から新利根川へ繋がる水路全域に繁殖しています。駆除対策のため、6月26日新利根川流域市町である稲敷市、龍ヶ崎市、河内町、利根町でナガエツルノゲイトウに対する緊急且つ継続的防除対策として農林水産省並びに関係省へ要望書を提出してまいりました。

今後の対策については、農業水利移設外来水生植物駆除緊急対策事業に係る補助金を活用し駆除対策を実施する予定です。

問 特定外来生物ナガエツルノゲイトウは、南米原産で繁殖力の高さから史上最悪の

問 高齢者補聴器購入費助成について
答 実施に向け内部調整を行っていく

問 補聴器は本来とてもデリケートな管理医療機器のため、専門家による購入前の微調整やフィッティング支援、またアフターケアを行っていくことが望ましいと言われている。高齢者の補聴器購入費助成を検討するにあたり、専門家として認定補聴器技能者を配置する店舗での購入をと考えるが、調査検討の進捗状況を問う。

答 実施する上での課題や、補助金が有効に活用されるような制度の検討を進め、実施に向けての内部調整を行っていく予定。

問 視覚障がい者のための防災・災害情報提供について、防災の手引きハザードマップに、音声コードUni-Voiceを付与されること、その進捗状況を問う。

答 防災の手引き、ハザードマップの主要な情報を音声コードとして付与するとともに

問 旧きのご施設について
答 専門家が説明します

問 石綿飛散による住民の健康は。

答 アスベストの検査は、9月から10月にかけて飛散状況等の検査を実施します。事業者は辞退しました。

問 建物に入り片付けるのは、特定粉塵排出等作業になると思うが。

答 事前調査は、解体・改修工事を行う者に義務付けられているもので、今回は清掃業務なので法には抵触しない。

問 アドバイザー予算の計上について。

答 住民からの問合せの声があり、検査結果の説明は、専門的知識を有するので住民に説明して頂くためです。

船川 京子 議員



に、Uni-Voiceコードの位置が、触って分かるようにページに切りかけを付ける予定。

問 町一般会計からの補助金を活用し、農業政策課長が委員として所属する、利根町地場産業推進協議会で取り扱う、日本酒「大吟醸利根のさくら姫」について、町でこれまでに投入された補助金、また社会福祉協議会にて費やされた経費なども含めて総体的に鑑み、費用対効果および今後の対応について町の見解を問う。

答 当町のお米を使用した日本酒製造販売、配布も含め、町内外のイベントにおいてPRすることで、一定の宣伝効果はあったと考えている。今後の対応については、地場産業推進協議会での事前展開について、積極的に支援をしながら進めていきたいと考えている。

井原 正光 議員



問 家を改築すると飛散し、だれでも吸い込みます。空き家・リホーム補助金が石綿工事に使われ、効果が薄いと思うが。

答 7月の庁議で、今後は各担当課で対応することに決まりました。

問 今後施設をどうするのか。

答 解体するにも起債はできない。1億円ぐらいかかると思うので、ためてからになると思います。

問 跡地に何かを誘導するプランは。

答 都市マス・地区計画ということになると思うが、市街化調整区域だけに難しいと思います。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 次世代リーダーの育成

答 実践力を育てていきたい

山崎 敬子 議員



問 どうぶつ基金の行政登録をなぜしていないのか伺う。

答 昨年度より地域猫活動が開始されたことや、今年3月に町内で初めて愛護団体が立ち上がるなど、動物愛護に対する活動が行われているので、7月に申請をし登録を済ませた。

問 町ホームページの『野良猫にエサを与えることは、飼い主とみなされます』という文言を違う表現に出来るか伺う。

答 エサを与える事が飼い主と同等の責任が伴う事を理解してもらうための表現でしたが、とらえ方もあると思うので、修正した上で野良猫について周知していく。

問 動物が苦手な方のために、超音波機を貸し出す等の対策が出来るか伺う。

答 近隣市町村の対応などを調査して、野良猫対策の一つとして、機器の確保や貸し出す条件など今後検討していく。

問 次世代リーダーの育成として、ジュニア防災検定を取り入れる事が出来るか伺う。

答 防災や減災にかかわる教育は発達段階に応じて指導が行われている。ジュニア防災検定は検定料が必要ななので、導入する予定はない。

問 現在議場見学を行っているが、子ども議会が開催できるか伺う。

答 議場見学は子ども達が親しみを持って町の政治の仕組みを学ぶ事が出来るので、今後も実施していきたい。子ども議会については、今後検討していく。

問 集団検診の時に託児所が開設できないか伺う。

答 子宮頸がんや乳がんの集団検診時には、以前行っていた保育サポートが出来る体制を再開したい。

問 定期予防接種はレプリコンワクチンか

答 オミクロン株に対応するワクチン

峯山 典明 議員



問 予防接種健康被害救済制度について伺う。

答 健康被害が予防接種を受けたことであると厚生労働大臣が認定したときは医療費や障害年金などの給付を受けられる。

問 10月から接種が始まる。今現在まだ承認はされていないのか。

答 国から正式な通知が来ていないので、まだわからない。

問 町でワクチン接種後に重篤な反応が出た場合どのような対応になるのか。

答 保健福祉センターで相談を受け付けている。

問 映画CM等の撮影で公共施設を貸した際、使用料が無料となっている理由は。

答 無料としていることで制作会社からロケ地に選ばれる。

問 条例施行規則に、メディア関係者が使う場合無償ですと記載はあるのか。

答 行政財産使用料徴収条例第5条で使用料の減免規定があり、第4号で町長が必要と認めるときは減免又は免除することができるとされている。

問 大雨時の冠水被害を食い止める、最小限に抑えるための施策及び根本的な解決方法について伺う。

答 新利根川の排水能力不足が要因で、霞ヶ浦圏域河川整備計画にある第3第4調節池の早期完成を県に要望していく。

問 石綿検査結果と計画の白紙経緯は
答 検体検査終了後、説明会を予定

問 県からの指摘があった瓦礫等について、検体検査をする前に産業廃棄物処理したことで行政不信が増大したが、町は信頼回復のため誠実に説明責任を果たす義務がある。町民に対して、農林業近代化施設の利活用案が白紙となった経緯説明をするスケジュールは。また、利根中体育館の大規模改修工事は、石綿含有の可能性ある建材を撤去する工事か。保護者への説明および、生徒と教職員の安心安全の確保は。

答 33箇所の検体および気中検査終了後、10月下旬から11月上旬に説明会を予定している。利根中体育館の長寿命化改良工事にアスベスト含有板除去工事が含まれているが、建材が非飛散性であることから、保護者へ説明は行う予定はない。法令を遵守し、生徒や先生の安心安全を確保する。

問 外国人との共生・協働の取組について
答 日本語サロンや自治会等と連携し推進

問 外国人への町民の苦情への対応は。

答 ごみ出しについては住民課で外国語用パンフレットを渡し、留学生のいる学校では指導している。また現地に出向き改善の指導を行う。取手警察署に対し外国人に対する巡回強化や交通マナー等講習の実施を依頼し、2校の外国語学校の生徒に対しては、日本の交通ルールの講習を実施する。

問 不登校の現状と対策について。

答 小中学校とも、新型コロナウイルス感染症対策としての長期休業が行われた年から増加傾向。不登校児童への対応は、発生前の未然防止と発生時の対応が必要。未然防止策として、生活アンケートやQ-Uテストを実施、児童生徒の心理状況を早期に把握、2者面談を実施し、保護者との連携により、一人一人の悩みや不安に寄り添う教育相談体制をとっている。

本谷 孝 議員



問 悪質太陽光発電乱開発業者による偽造された委任状が原因で、売買していない土地に勝手に太陽光パネルが設置され発電している現状があるが、町の認識と今後、業者に対する指導について伺う。

答 紙文書に署名または押印がある時は受理した。本人が書いていないと言っても、町では偽造委任状であるか否かの判断はできないので、業者を指導する理由がない。裁判で業者と戦ってほしい。

委任状が偽造であることが認証されれば、町としてもやれることは見えてくるのではないかと。

佐藤 眞一 議員



問 もえぎ野台団地の投票所について。

答 現時点で投票所の移転は考えていないが、人口動向や投票区ごとの事情等を注視しながら、必要に応じて見直しを検討する。

問 利根町地域公共計画の進捗は。

答 地域公共交通計画について特にAIオンデマンドバス、ライドシェア、自動運転を含めた施策を住民説明会で提案頂き、パブリックコメント実施結果を踏まえ、最終的には地域公共交通活性化協議会で検討する。

問 自転車用ヘルメットの購入補助について。

答 近隣市町村の動向に注視し、補助制度の条件や予算等も含め検討する。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は原則各議員が作成したものです。)

問 親水公園の現状及び今後の対応について

答 財政部門と協議しながら対応していく

山崎誠一郎 議員



問 利根町の貴重な観光資源である親水公園の現状及び今後の対応について伺う。利根町内には先日行われた納涼花火大会をはじめその他数々のイベントがありますが、親水公園のTONE LOTUS FES～蓮祭～は多くの町外からの集客が来場される町内の中でも大きなイベントの一つであります。また、早朝から散歩される方や、カメラを持った愛好家が散策されている町の名所でもあります。昨年は時期的な事がありますが、LOTUS FESが終了した後に満開となった事から、今年の生育状況を見に4月19日に見てまいりました。そこで目にした状況は残念なことに池底の汚泥による臭気や池底から吹き出すガス、木道の損傷が顕著でありました。

現状は非常に残念な状態と感じました。そこで、今後名所としての親水公園をどのように維持管理するかについて町の考えを伺う。

答 開園以来20年が経過しており、園内設備の経年劣化による破損や浸食等が目立つようになり、来園者の安全を確保するため損傷の著しかった池中央のデッキ部分の改修工事や、落下の危険性があった公園等の工事などを限られた予算の中で実施してきた。ご指摘の池の中の汚泥や木道の損傷は数年間町でも危惧していました。全面改修工事の予算を幾度か試みましたが費用が多額であり断念せざるを得ない状況でありました。来園者の事故にも関わってきますので、町職員が応急措置を実施してきたが、見た目が悪いだけでなく、段差ができ、つまづく要因にもなっているので、今後改修工事が必須と考えている。また、池の中の汚泥については、悪臭もそうですが、植栽の発育にも影響を及ぼしている可能性も認識している。今後も大勢の来園者が見込まれる公園であるため、景観形成や安全確保が図られるよう専門業者や財政部門と協議しながら対応して行きたいと考えている。

議 会 活 動

委員会活動

議会運営委員会

議会運営委員会は、円滑な議会運営等のため設置された委員会で、特に本会議の日程や案件を決めるなど議会運営全般について協議、意見調整を行っています。

- ・7月16日（火）広報編集委員会終了後第1回臨時会の会期日程・議事日程等について
- ・8月26日（月）午前10時～第3回定例会の会期日程・議事日程等について



▲議会運営委員会の様子（8/26 全員協議会室）

第74回利根川治水同盟治水大会

○参加議員：山崎（誠）議員、山崎（敬）議員

令和6年7月30日（火）に群馬県高崎市で標記大会が開催され、当町からは2名の議員が出席しました。大会では講演をはじめ、令和6年度利根川治水の主要事業概要説明、意見発表、大会宣言・決議などが行われました。



高崎芸術劇場



大会の様子

上野村自然体験事業（生涯学習課事業）

厚生文教常任委員会：新井 邦弘 委員長

令和6年8月22日（木）～23日（金）に生涯学習課事業の群馬県上野村で行われた自然体験事業に同行しました。

利根小学校の5・6年生を対象に募集をし、30名の児童が参加しました。

事業前日までの天候不良により、当初の予定を変更することになりましたが、上野村及び上野村産業情報センターの方々に計画・企画段階より、事業当日の2日間まで、多大な支援・ご協力をいただきました。

1日目は、森の体験館での木工体験でバードコールを作製、また、関東最大級の鍾乳洞「不二洞」・天空回廊「上野スカイブリッジ」・「まほーばの森」の散策、夜は宿泊所である「上野村自然体験学習の家 木森れ陽」で星空観測を行いました。当日は残念なことに雲が多く実際に星空を見ることはできませんでしたが、講師の方が写真やスライド映像などの資料を用いてご指導いただきました。

2日目は、森林セラピーの森林浴や、関東唯一の恐竜専門観光施設である「神流町恐竜センター」に行き、館内で恐竜時代を再現したライブシアターを見学しました。

上野村の豊かな自然を満喫し、自然体験や環境学習など、子どもたちにとって夏休みの大切な思い出を作ることが出来たと思います。



上野村道の駅



上野スカイブリッジ

行政視察の受け入れ

令和6年8月20日（火）宮崎県高原町議会の行政視察の受け入れを行いました。

当日は高原町議会の総務経済常任委員会の所属する議員5名、事務局職員2名の7名が利根町議会を訪れました。

視察内容は、「学校跡地利用に関すること」及び「起業塾について」ということで、利根町議会からは大越議長並びに井原総務産業建設常任委員長が、執行部からは政策企画課長・政策企画課課長補佐・まち未来創造課課長補佐及び担当者が出席し、視察内容についての説明の後、活発な質疑応答が交わされました。



▲視察の様子（全員協議会室）



▲議会議場にて

令和6年度町村議会広報研修会

議会広報編集委員会：新井 邦弘 委員長

令和6年9月25日（水）東京都港区虎ノ門のニッショーホールにおいて全国町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が開催され、広報編集委員5名及び大越議長が参加し研修を受けましたのでご報告いたします。

○参加委員：新井委員長、船川副委員長、山崎（誠）委員、山崎（敬）委員、佐藤委員
大越議長

1. テーマ：「読まれる議会広報紙の作り方」
講 師：（一社）日本経営協会
元小美玉市行政職員 中本 正樹氏
2. テーマ：「パッと伝わる議会広報紙に！
やっではいけないデザイン講座」
講 師：グラフィックデザイナー
（公社）日本広報協会
広報アドバイザー 平本 久美子氏



▲ニッショーホール

議 会 説 明 会

「利根町耐震改修促進計画（案）」に係る説明会

令和6年7月17日（水）臨時会終了後、全員協議会室において、利根町耐震改修促進計画（案）に係る説明会が開催されました。

この計画は、大地震発生時における建築物の倒壊等による被害から町民の生命、身体及び財産を保護するため、建築物の耐震化改修を計画的に進めるための基本的な枠組みとして策定するものです。

「農林業近代化施設」に関する説明会

令和6年8月16日（金）午前10時から全員協議会室において、農林業近代化施設に関する説明会が開催されました。

農業政策課から農林業近代化施設に関する状況等の説明があり、議員からは質疑や意見等が出されました。



▲説明会の様子（全員協議会室）

「いばらき消防指令センター」業務内容説明会

令和6年9月5日（木）定例会終了後、全員協議会室において、稲敷地方広域市町村圏事務組合事務局長外6名の消防関係職員より、いばらき消防指令センター共同運用についての説明会が開催されました。

共同運用のメリットは、災害情報を一元化することで大規模災害発生時や救急要請の集中時に相互応援の更なる迅速化が期待できます。



▲説明会の様子（全員協議会室）

「第2期利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略等に関する説明会

令和6年9月18日（水）本会議終了後、全員協議会室において、利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略等に関する説明会が開催されました。

内容は、令和5年度「総合戦略」・「過疎計画」の進捗状況、KPI及び数値目標の実績報告及び「総合戦略」・「過疎計画」の見直しについて、政策企画課職員より説明がありました。

利根町議会日誌（令和6年7・8・9月）

活動内容	
7月	
1	令和6年度成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会（JR東日本への要望活動）
9	原水爆禁止国民平和大行進
10	茨城県稲敷地方航空騒音公害対策協議会定期総会
11	令和6年度利根町文化協会理事会総会
16	広報編集委員会
〃	議会運営委員会
17	令和6年第1回議会臨時会
〃	利根町耐震改修促進計画（案）に係る議会説明会
〃	議員全員協議会
19	令和6年度利根町老人大学
25	県南町村会定期総会
29	令和6年度竜ヶ崎土木協会定期総会
30	第74回利根川治水同盟治水大会
31	令和6年度第1回利根町国民健康保険運営協議会
〃	茨城県南水道企業団議会・定例会
8月	
2	令和6年度新利根川流域ナガエツルノゲイトウ等対策協議会
5	令和6年度霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟総会
8	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会・研修
〃	県南町村議会議長会
16	農林業近代化施設に関する議会説明会
18	第47回利根町民納涼花火大会
19	令和6年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会総会・懇親会
20	宮崎県高原町議会視察受入

活動内容	
8月	
22	利根町・上野村自然体験事業（～23日）
24	2024いなしき夏まつり花火大会
26	議会運営委員会
27	令和6年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会・定例会
28	令和6年第2回定例会（町村長・議長合同会議）
〃	令和6年第1回臨時会（町村議会議長会議）
9月	
2	令和6年第3回議会定例会（～18日）
5	いばらき消防指令センター業務内容説明会
〃	利根町地域公共交通計画（骨子案）に関する議会説明会
〃	第一法規説明会
6	厚生文教常任委員会
9	請願審査特別委員会
10	決算審査特別委員会（～13日）
13	取手・守谷・利根地域医療協議会監査
14	令和6年度利根町PTA連絡協議会研修会
16	令和6年石岡のおまつり
18	利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略等に関する議会説明会
〃	請願審査特別委員会
22	利根町敬老会
〃	金刀比羅神社奉納相撲大会
25	令和6年度町村議会広報研修会
27	令和6年度取手・守谷・利根地域医療協議会総会
28	利根フレッシュタウン 第42回秋祭り
〃	大洗海上花火大会

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。

第3回定例会の傍聴者数は、延べ33名でした。

※本会議の様子をYouTubeで配信しています。

こちらから⇒



利根町公式ホームページからアクセスできますので、是非チャンネル登録をしてご覧ください。これまでのライブ配信や、録画配信（令和5年12月以降）がご覧いただけます。

○次回の定例会は、令和6年12月2日（月）から開催する予定です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

こちらから⇒



利根町議会会議録は、図書館と役場1階会計課前の情報公開コーナーにあります。